

大災害から学ぶBCPへの新たな視点と対応策

～ BCPの実効性強化と外部から評価を受けるためのポイント ～

日時 2022年11月30日(水) 10:00～16:30 (5.5H)

参加方法 オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師 プリンシプル・コンサルティング・グループ株式会社
プリンシプルBCP研究所 所長 はやしだ ともゆき
林田 朋之 氏

対象 総務部門、経営企画部門、防災ご担当者、経営幹部、
CSR推進ご担当者 等

ご参加に当たってのお願い

- ◆オンライン専用講座です。ビデオ・マイク付のPCで、ビデオONでご参加ください。
(場面に応じて、ミュート解除でご参加いただけます)
※ビデオ・マイク機能のないPCでのご参加は、ご遠慮いただきます。
ご了承ください。
- ◆ZOOM参加時には、お名前表示を名字(例 山田)にご変更ください。

主催  一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

近年、列島では、比較的大きな地震が多発し、今後も2035年±5年、つまり2030年代に南海トラフ地震(東海、東南海、南海の三連動地震)が発生すると言われ、その後の富士山噴火も含め、企業の災害対策の強化が必須となっています。特にサプライチェーンを展開している企業では、広域大災害に対しての備えを、既存の危機管理やBCPの枠を抜けた対応が求められています。

本講座では、今後起こり得る、首都直下地震、南海トラフ地震、富士山噴火に対するBCPと防災に至る広範な危機管理について解説するとともに、コロナ禍に震災が発生した場合の複合災害としての対応、リモートBCP対策本部の設けや訓練、外部から評価を受けるBCPのポイントなど実効性のあるBCP対策を解説します。

■参加料(1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇日本経営協会会員(1名)：33,000円(税込)
- ◇一般 (1名)：40,700円(税込)

■受講お申込み方法

下記「お申込みの流れ」を参照いただき、お申込みは開催日の5営業日前までにお願いいたします。

【WEBからのお申込み方法】

- 1 一般社団法人日本経営協会
ホームページ <https://www.noma.or.jp> から
- 2 「セミナー／講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
※テキスト・資料の送付先が、ご連絡先と異なる場合は「連絡事項」部分に送付先住所をご入力下さい。
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます

■参加料金お支払い方法

お申込み後、振込口座名を記載した請求書と参加券をご連絡担当者にお送りします。なお、開催3営業日前までに届かない場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載のお支払期限までお願いいたします。

振込み手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。

■オンライン参加について

【セミナーで使用するテキスト・資料とご視聴について】

セミナーで使用するテキスト・資料類は、現物(紙)を送付する予定ですが、ダウンロードURLをメールでご案内する場合もございます。当日、視聴していただくためのURL及びID・パスワードは、別途担当からメールにてご連絡担当者宛てご連絡いたします。

お申込み・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会

企画研修グループ・オンライン開発グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1891(直) FAX (03) 3403-1130
E-mail: tms@noma.or.jp URL <https://www.noma.or.jp>

【オンラインセミナー受講上の注意事項について】

Zoomに接続可能なパソコンまたはタブレット端末をご用意下さい。事前に各ストアから無料アプリをダウンロード(最新のバージョンに更新)して下さい。

Zoom公式ホームページ: <https://zoom.us/>

セミナー動画の録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また自ら、又は第三者を通じて、テキストデータおよびセミナー動画の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権・知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

セミナー参加に必要な通信環境、通信料等は、参加者のご負担となりますのであらかじめご了承下さい。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照下さい。

■キャンセルについて

お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。セミナーテキスト・資料の到着後のキャンセルについては、参加料の100%を申し受けます。(セミナー開催日の1週間前程度から発送開始)

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

大災害から学ぶBCPへの新たな視点と対応策

～ BCPの実効性強化と外部から評価を受けるためのポイント ～

プログラム内容

1. 活発化する地震活動と備え

- (1) 2022年直近の地震発生
- (2) 30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率
- (3) 地震研究の最新知見を知る
- (4) 東京都の新たな地震被害想定（2022年見直し）
- (5) 東京の地域危険度

2. コロナ禍におけるBCPの本質と変化

- (1) 地震に対するBCPの考え方の違い
- (2) 事業継続計画（BCP）の本質と基本原則
- (3) BCPを取り巻く環境の変化
- (4) BCPに対する外部からの要望とSDGs/CSR
- (5) 一般的な企業のリスク項目分類（外部環境）
- (6) 一般的な企業のリスク項目分類（内部環境）
- (7) リスクマネジメント、危機管理、BCPの関係
- (8) 重要度・頻度分析リスクマップ（例）
- (9) 企業のリスク項目と各BCPの影響度を考える
- (10) 各対象によるBCP策定手法の違いを理解する
- (11) 企業リソースと災害・BCPの関係
- (12) 事業継続マネジメントシステム（BCMS）の構築
- (13) BCP強化ポイント

3. 複合災害対策本部と運用

- (1) 震災・複合災害時の「事務局」の役割（例）
- (2) Before：対策本部室の構成（例）
- (3) コロナ禍における複合災害対応（例、震災）
- (4) After：複合災害対策本部構成（例）
- (5) 複合災害対策本部の仕事はハイブリッド労働
- (6) コロナ禍における対策本部の運用
- (7) 複合対策本部の組織マネジメント

4. リモートBCP対策本部訓練の手引き

- (1) BCP訓練の概要
- (2) 対策本部シミュレーション訓練
- (3) 経営陣向けワークショップ訓練
- (4) リモートBCP対策本部訓練の目的
- (5) リモートBCP対策本部訓練の目標
- (6) 訓練構成（例）
- (7) 訓練実施までのマイルストーン
- (8) リモートBCP対策本部「初動」訓練の概要（例）
- (9) 訓練シナリオ（例）
- (10) 訓練のプレイヤー
- (11) 訓練次第の作成（例）
- (12) リモート対策本部訓練計画書の目次（例）
- (13) 訓練で使用する報告（例）
- (14) 訓練で使用する広報発表（例）
- (15) 災対ポータルサイト（ウェブ対策本部）の活用
- (16) MS 365 SharePointによる災対ポータル構築例

5. 事業影響度分析

- (1) 事業影響度分析の考え方
- (2) 事業影響度分析の実施例
- (3) 事業影響度分析の経営的視点

演習 1. 事業影響度分析

6. BCPの内部評価方法と文書化

- (1) BCP簡易チェック項目

- (2) BCPの評価軸と視点
- (3) BCP評価例
- (4) マネジメントシステムにおける文書構造
- (5) BCPドキュメントの構成と様式
- (6) 震災対応BCP規程の目次（例）

7. IT-BCPの検討

- (1) IT被災と企業リスク
- (2) 企業におけるIT被災の特徴
- (3) BCP対策本部組織と情シスの位置付け
- (4) BCPから見た情シスへの要求
- (5) IT-BCPとしての災害対応
- (6) データ保全（ファイルバックアップ）
- (7) システム保全：Disaster Recovery（DR）
- (8) 危機管理ITリテラシーを上げる
- (9) 対策本部事務局と情シスのコミュニケーション
- (10) 有事のITとは
- (11) 情報システム部門の初動時のBCP活動
- (12) IT 環境における被災シナリオと運用（例）
- (13) 複合災害対策本部のサイバースペース化
- (14) 対策本部作業のDX化とBCP-DX

8. BCPにおける経営的視点

- (1) BCPにおける五つの経営的視点
- (2) 災害と企業リソースへの影響例
- (3) 評価されるBCPとは
- (4) 取引先からのBCP構築要請
- (5) 会社法とBCP
- (6) 物流・サプライチェーンリスクマネジメント
- (7) BCPと安全配慮義務違反
- (8) 災害広報のガイドライン策定
- (9) ホームページへのBCP策定状況の記述（例）
- (10) 経営者が陥りがちな「正常性バイアス」反応
- (11) 役員・取締役の初動マニュアル策定のすすめ

9. 五連続災害とBCP

- (1) 首都直下地震から続く五連続災害とは
- (2) 南海トラフ地震（海溝型）の予測
- (3) 南海トラフ地震を知る
- (4) 気象庁の南海トラフ地震発表とキーワード
- (5) 富士山噴火BCP
- (6) 最悪のシナリオ：短期連続災害
- (7) 今から策定する連続災害対応の基本方針（案）
- (8) 物流・サプライチェーン対策（案）
- (9) 企業リソースの移転と本社機能の危険分散

10. BCPの課題と解決（案）

- (1) 帰宅困難者の再定義
- (2) 大企業におけるBCPの課題と解決（案）
- (3) BCPスキル継承問題
- (4) 災害の可視化とBCP-DX
- (5) 対策本部メンバーに求められるレジリエンス力
- (6) 災害時の労務管理
- (7) グループ会社のBCPと監査
- (8) BCP監査の課題と解決（案）

* 必要なもの：電卓（携帯、スマホで代用可能）、筆記用具をご用意ください。

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

講師プロフィール

プリンシプル・コンサルティング・グループ株式会社 プリンシプルBCP研究所 所長 **林田 朋之 氏**

北海道大学大学院修了後、富士通株式会社入社、その後米シスコシステムズ入社。独立コンサルタントとして、大企業、中堅企業のIT、情報セキュリティ、危機管理、震災および新型インフルエンザのBCP、クラウド・リスクマネジメントなどのコンサルティング業務を実施。

現在、企業の危機管理、BCP、情報セキュリティ、ITインフラシステムなどコンサルティング業務を遂行。

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。